

1 用意するもの

- ・ダンボール箱2枚(10kgのみかん箱)
- ・ピートモス(12ℓ)
- ・もみ殻くん炭(8ℓ)
- ・水(2ℓ)
- ・ガムテープ(布製)
- ・カッターナイフ
- ・マジック



2 「ふた・底」を作成する



1 本体の箱を合わせて「ふた・底」の切り取り線を入れる。



3 「底」は、線の外側を切るのがポイント。



2 ガムテープを貼って「ふた」を作る。



3 箱の立ち上げ部分にガムテープを貼り「本体」の箱を完成させる

箱の内側の隙間部分にガムテープを貼る。持ち運び用の穴の内側・外側両方にもガムテープを貼る。

底を補強するため、切り取った「底」を重ねて2重にし、四辺にガムテープを貼る。



ふたを立て、四隅をすき間なくテープを貼る。(ふたの取り外しがスムーズになるよう、少し重ねるように貼るのがポイント。)

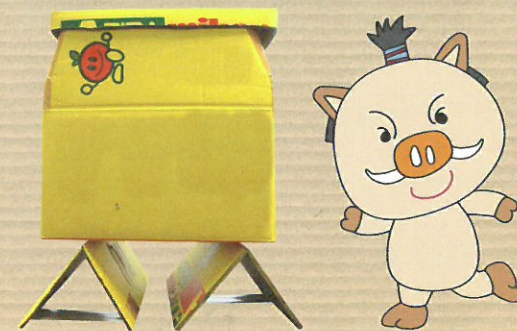
5 残りのダンボールで足を作る

残りのダンボールを折って、テープで固定して足を作ります。



底の通気がよくなります。

6 ダンボールコンポストの完成!



ダンボールが組み立てできれば、次はピートモスともみ殻くん炭を混ぜて、基材を作ります。

7 ピートモス、もみ殻くん炭を水で混ぜ合わせる



もみ殻くん炭

ピートモス

1

水を入れて混ぜる

2

ピートモスともみ殻くん炭の割合
3 : 2

生ごみを投入し、よく混ぜ合わせる生ごみ投入は1日500~600g 空気が底まで届くように混ぜます。



3 日付けを記入して、3カ月間、約45kgのゴミが堆肥になります。

分解しやすい生ごみ (^o^)

ごはん・野菜くず・卵の殻・果物(柑橘類を除く)・天かす・きな粉・魚・肉類・お菓子・パン・米ぬか・食用廃油

分解しにくい生ごみ (;_;)

たまねぎ・にんにくの皮・肉の骨・とうもろこしの芯と皮・落花生の殻・栗の殻・かきの殻・果物の種

柑橘類は 菌が死んでしまうので 入れないでね